

Y. M. 社会システム学科・2 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私が協定留学を目指したきっかけは、K-POP や韓国の食べ物、コスメなどの韓国の文化に興味があったからです。高校で韓国語の授業があったので、基礎的な読み書きはできました。本学に入学する前から、韓国に留学したいと考えていたので、入学してからは、留学の基準を満たすことができるように、試験勉強をしました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

TOPIK の過去問を解いていました。（韓国語能力試験 TOPIK II 総合対策）

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学の勉強は特にせず、韓国ドラマや推しのコンテンツを観ていました。

④ 現地到着後

空港からは一般鉄道を利用して二時間ほどかけて宿舎に到着しました。コスパ重視で一般鉄道を利用しましたが、荷物が沢山あって移動が大変だったので、空港バスやタクシーを利用するのをお勧めします。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

約 15 人のクラスで、半分以上がモンゴルの学生でした。学校の中に併設されていたので、特に不便に感じる部分はありませんでした。

◆ 授業内容、課題、試験

月曜日から金曜日の 9 時から 13 時までで、50 分授業＋10 分休憩といった構成でした。また、毎日授業に関する単語を書く宿題があり、ライティングや発表のテストもありました。試験は授業を聞いていれば、解けるテストでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

小規模な大学で、移動がしやすく助かりました。カフェやコンビニ、食堂、ジムなどの施設も充実しており、よく利用していました。キャンパスが二つあったので、もう一つのキャンパスで授業があった際は、学校のシャトルバスを利用して通学しました。

◆ 履修科目について

・ 韓国文化の理解

初級韓国語学習者を対象に、韓国の伝統文化と現代文化を比較しながら、韓国社会や韓国人の価値観について客観的に理解するための授業です。

・ エンターテインメント産業論

ライブエンターテインメントおよびメディアエンターテインメント産業の歴史、構造、特性、社会的価値についての授業です。

・ 文化コンテンツ・マーケティング

文化芸術やメディアコンテンツを活用したマーケティング理論と実践事例、ブランド価値創出やイメージ向上における文化の役割について学ぶ授業です。

・ 日本の政治経済と文化

日本の政治体制や経済構造、社会背景、現代日本社会の特徴、日本の大衆文化、日本経済の発展と課題、そして日韓関係の将来について学ぶ授業です。

・ 東アジアの文化とコンテンツ

日本・韓国・中国など東アジア地域における言語、文学、哲学、映画、ドラマ、観光といった多様な文化コンテンツについて、個人発表やグループ発表、討論を通じて各国文化の共通点と相違点を比較して、理解を深めていく授業です。

◆授業、レポート、定期試験

・ 韓国文化の理解

教科書を使いながら、韓国社会や生活習慣、価値観について学びました。基礎的な語彙や表現を用いながら文化理解を深める構成となっており、韓国語初心者でも理解しやすい内容でした。また、世界の文化に触れるフィールドワークや発表がありました。私のチームにはモンゴル人、トルコ人、エジプト人などがいました。意思疎通が難しかったですが、なかなかできない体験だったので面白かったです。期末試験では、教科書の内容や用語を中心に出题されました。

・ エンターテインメント産業論

ライブエンターテインメントおよびメディアエンターテインメント産業の歴史、構造、特性について、具体的事例を交えながら学習しました。近年のメディアプラットフォームの発展や国際化の影響についても取り上げられ、産業全体を理解する内容でした。この授業は、筆記試験がなく、エンターテインメント産業に関する事例を取り上げ、授業で学んだ理論を用いて分析するレポートがありました。問題についてのグループ討論などもあり、内容は難しかったですが、楽しかったです。

・ 文化コンテンツ・マーケティング

文化芸術やメディアコンテンツを活用したマーケティング理論と事例を通して、文化がブランド価値やイメージ形成に果たす役割について学びました。この授業は、エンターテインメント産業論と同じ教授の授業でした。その授業同様に筆記試験がなく、文化コンテンツやマーケティング事例を取り上げ、その効果や意義について考察するレポートがありました。実際に文化コンテ

ンツマーケティングについて、現場調査を行い、調査内容のレポートと発表がありました。課題をこなすのがとても大変だった印象の授業です。

・日本の政治経済と文化

日本の政治体制、経済構造、社会背景を中心に、日本社会の特徴について学びました。韓国から見た日本の文化や経済を知ることができて面白かったです。また、日本の映画を鑑賞して、感想を書くレポートがありました。期末試験では、授業で扱った内容を踏まえ、日本社会の課題や特徴を説明する記述もありました。教授が日本に留学経験のある方だったので、テストも日本語での記述を許可してくださいました。日本についての内容とはいえ、覚える内容が沢山あったので、苦戦しました。

・東アジアの文化とコンテンツ

東アジア地域における言語、文学、哲学、映画、ドラマ、観光などの文化コンテンツについて学んだグループの発表があり、私のチームは OTT とドラマについて、国ごとの特徴や違いを発表しました。期末試験では、授業内容全体を通した理解度が問われました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特にしていませんでした。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

学校から徒歩 5 分、駅から徒歩 2 分ほどの寮にルームメイトと二人で住んでいました。食事は学校の食堂を利用したり、自炊や宅配アプリを利用したりしていました。ウォーターサーバー、電子レンジは各階に一台あり、洗濯機やコンロも各部屋に一台ありました。週二回点検がありました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

日本に一時帰国し、アルバイトをしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

すべてが新鮮で楽しかったです。カフェも街並みもお店もおしゃれで、歩いているだけでワクワクしました。夏に済州島に旅行へ行ったとき、食べ物もおいしくて、ソウルとはまた違う自然を味わうことができたので、とても印象に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初の一か月ほどは生活に慣れるのにとても苦戦しました。韓国語が読めても意味が理解できなかったもので、常に翻訳機を利用していました。語学堂に通っているときは、毎日早い時間に起

きないといけなかったもので、精神的にも身体的にもしんどかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

バスに乗るときに、自分からバスの前まで移動して乗車したり、座っていなくても出発し始めたりすることに驚きました。また、せっかちな人が多いので、その習慣が自分も身についてしまい、日本に帰ってきたときに、歩くスピードの違いに驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良い意味で小規模な大学だったので、移動がしやすかったです。学校の周りは、飲食店が多く、基本的な買い物はできるくらい栄えていたので助かりました。留学生向けのバディプログラムがあり、一緒にご飯を食べたり、勉強をしたり、学校生活で分からないことがあればバディに聞くことができたりしました。悪い点は、教室までの坂が急でしんどいところです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

授業は ppt を使って行うのでパソコンやタブレットを利用していました。韓国のサランラップは質が良くないので、絶対に日本から持っていくことをお勧めします。日本でしか手に入らない調味料も持っていくと自炊の助けになると思います。基本的に DAISO で日用品は揃うので、食べ物など、必要最低限持っていけばいいと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学堂は、大変でしたがその分確実に語学力が伸びたと思います。授業を韓国語で聞くのでリスニングも伸びたと思います。授業で習ったことを生かすには、自分から話すしかないと思うので、生活をしている中でも積極的に話す意識はしていました。留学して実感したことはメンタルが強くなったことです。挑戦してみたい気持ちや、失敗を恐れない力が身についたと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行って自分の世界が広がりました。大変なことも多いですが、その分得るものも多いです。今まで将来についてあまり考えることができませんでしたが、留学を通じて自分のやりたいことが明確になったと思います。自分が成長できるチャンスだと思って、ぜひいろんなことに挑戦してみてください。

Ⅳ. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

海外と関連した仕事に就きたいです。化粧品関係にも興味があります。

V. 写真

学祭に ILLIT が来た写真です。

屋台やブースが出ており、大盛り上がりでした。



好きなアーティストの LIVE に行った写真です。



学校の前にあるタイ焼き屋さんです。

安くておいしいのでおすすめです！



友達と学校終わりに漢江に行って
ご飯を食べた写真です。

